

日本大気電気学会第100回研究発表会 プログラム



日程： 2022年 1月7日（金）、8日（土）
会場： オンライン会場（Zoom 使用予定）
連絡先： 牛尾知雄（大阪大学） Tel: 06-6879-7939
E-mail: ushio@eei.eng.osaka-u.ac.jp

日 程 表

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1月7日 （金）		口頭 セッション S1	休 憩	口頭 セッション S2	昼食	ポスター セッション PA	休 憩	総会	休 憩	特別 講演		
1月8日 （土）	口頭 セッション S3	休 憩	口頭 セッション S4	昼食	ポスター セッション PB	口頭 セッション S5						

注：発表者は○印で示されています。

第 1 日 1 月 7 日(金): オンライン

日本大気電気学会会長 長門研吉 挨拶

9:25-09:30

口頭セッション S1

9:30-10:30

座長 鈴木智幸(静岡県大)

S1-1 ○熊本真理子(地磁気観測所)

地磁気観測所における大気電場と発達した積乱雲の関連の調査－降雹 4 事例－

S1-2 ○櫻井南海子(防災科研), 筆保弘徳(横国大), Paul R. Krehbiel, Ronald J. Thomas, William Rison, Daniel Rodeheffer(NMT)

T1915 の壁雲で発生した正極性落雷の特徴について

S1-3 ○榎戸輝揚, 鶴見美和(理研), 一方井祐子(金沢大), DinizGabriel(理研), 三宅晶子, 富岡大(茨城高専), 中澤知洋(名大), 和田有希(阪大), 久富富平, 辻結菜(名大), 森本健志(近畿大), 中村佳敬(神戸高専), 鴨川仁(静岡県大), 沼澤正樹, 加藤陽, 湯浅孝行(理研), 土屋晴文(JAEA)

シチズンサイエンスを活用した金沢での放射線マッピング「雷雲プロジェクト」

休 憩 (30 分)

10:30-11:00

口頭セッション S2

11:00-12:00

座長 吉田智(気象研)

S2-1 ○和田有希(阪大), 中村裕子(東京大), 榎戸輝揚(理研)

ドローンを用いた雷雲直下での放射線観測の検討

S2-2 ○鴨川仁, 鈴木智幸(静岡県大), 安本勝(富士山環境研究センター), David Smith, John Ortberg(USCS), 榎戸輝揚, 鶴見美和(理研), 和田有希(阪大)

2021 年 8 月富士山頂で発生した上向き雷放電時において放電前・時に放射線は発生したか?

S2-3 ○長門研吉(高知高専)

大気イオンに関連する気相イオン反応の研究

昼 食 (60 分)

12:00-13:00

ポスターセッション PA1 (前半) ・ PA2 (後半)

13:00-14:30

座長 (前半) 中村佳敬 (神戸高専) (後半) 小林文明 (防大地球)

[PA1 : 前半 13:00-13:45]

PA1-1 ○野崎佑磨 (千葉大), 大矢浩代 (千葉大), 土屋史紀 (東北大), 中田裕之 (千葉大), 塩川和夫 (名大)

VLF/LF 帯標準電波観測に基づく D 領域電離圏の季節依存性

PA1-2 ○鈴木威流 (千葉大), 大矢浩代 (千葉大), 土屋史紀 (東北大), 塩川和夫 (名大宇宙地球環境研), 西岡未知 (NICT), 中田裕之 (千葉大)

VLF/LF 帯標準電波を用いた火球による D 領域電離圏擾乱の研究

PA1-3 ○佐藤駿, 中田裕之, 大矢浩代 (千葉大), 穂積 Kornyanat (NICT), 斎藤享 (ENRI)

減衰を考慮した HF 帯電波伝搬シミュレーターの作成

PA1-4 ○Song Rui, Hattori Katsumi (Chiba Univ.), Zhang Xuemin (China Earthquake Administration)

The 3-D distribution of ionospheric electron density related to the natural hazards

PA1-5 ○遠島賢人, ウティン, 王道洪, 高木伸之 (岐阜大)

負極性落雷の開始に伴う電界変化波形について

PA1-6 ○角亮佑, ウティン, 王道洪, 高木伸之 (岐阜大)

FALMA の観測データに基づく冬季落雷の基礎特性の解析

PA1-7 ○鈴木遥士, ウティン, 王道洪, 高木伸之 (岐阜大)

FALMA による冬季落雷の予知の可能性について

PA1-8 ○Haitao Huang, Daohong Wang, Ting Wu, Nobuyuki Takagi (Gifu univ.)

An investigation on the correlation between the velocity and electrical current of upward leaders in upward lightning

[PA2: 後半 13:45-14:30]

- PA2-1 ○本多翔太, 森本健志 (近畿大), 酒井英男 (富山大)
BS 放送電波を利用した降雨推定に関するフィージビリティスタディ
- PA2-2 ○栗原優介, 安藤芳晃 (電通大)
磁化プラズマを E-J 法でモデル化した VLF/LF 帯電波の 3 次元汎用シミュレータの開発
- PA2-3 ○野本博樹, 芳原容英 (電通大), 土屋史紀, 平井あすか (東北大)
プロトンオーロラに伴う下部電離層擾乱のモデリングによる VLF 帯送信電波異常の数値計算
- PA2-4 ○岩瀬雄大, ウティン, 王道洪, 高木伸之 (岐阜大)
正極性帰還雷撃の直前に発生した電界変化パルスに関する研究
- PA2-5 ○山野井海斗, 森本健志 (近畿大), 小久井一樹, 田尻貴浩, 清水雅仁 (中部電力)
指向性アンテナを用いた雷放電から放射される VHF 帯パルス検出装置の開発
- PA2-6 ○Iqbal Faridiansyah, Muhammad Ikhwanus, Takeshi Morimoto (Kindai Univ.)
Regional and seasonal dependency of lightning activity in Aceh province, Indonesia by LIS observations

休 憩 (30 分)

14:30-15:00

総 会 :

15 : 00 - 16 : 00

特別講演 丸田章博 (大阪大学 大学院工学研究科)

16:30-17:30

講演題目「光ファイバ通信技術の現状と課題」

第2日 1月8日(土): オンライン

口頭セッション S3

9:00-10:00

座長 菊池博史 (電通大)

S3-1 ○Ting Wu, Daohong Wang, Haitao Huang, Nobuyuki Takagi (Gifu Univ.)
Strongest negative return strokes in winter produce special LF waveforms

S3-2 ○酒井英男 (富山大)
雷を大地の磁化から探る

S3-3 ○鈴木智幸, 鴨川仁 (静岡県大), ウティン, 王道洪 (岐阜大), 伊東耕二 (所属無),
青島晃 (磐田南高), 南勉 (神戸高)
2021 年冬季に観測された高高度放電発光現象と関連現象の解析

休 憩 (30 分)

10:00-10:30

口頭セッション S4

10:30-11:50

座長 小林文明 (防大地球)

S4-1 ○梅原章仁, 吉田智, 林修吾 (気象研), 南雲信宏, 山内洋 (気象庁), 吉川栄 (JAXA)
二重偏波レーダーと三次元雷標定装置を用いた夏季積乱雲内部の電荷分布構造の
解析

S4-2 ○山本真之, 川村誠治 (NICT), 今井克之, 山口博史, 斎藤浩二 (住友電設), 西村
耕司 (京大生存研)
ウィンドプロファイラにおけるアダプティブクラッタ抑圧を用いた飛翔体クラッ
タの低減

S4-3 ○菊池博史, 及川夏依, 芳原容英 (電通大), 中村佳敬 (神戸高専), 吉川栄一
(JAXA), 森本健志 (近畿大), 牛尾知雄 (阪大)
気象用二重偏波フェーズドアレイ気象レーダーと LF 帯雷放電標定装置を用いた夏
季積乱雲の観測

S4-4 ○藤原博伸, 大河内博, 三原直之 (早大), 鴨川仁, 鈴木智幸 (静岡県大), 林修吾 (気象研)

都市型局地的豪雨の雷活動と雨水の化学的分析について

昼 食 (40 分)

11:50-12:30

ポスターセッション PB1(前半)・PB2(後半)

12:30-14:00

座長 (前半) 芳原容英 (電通大) (後半) 長門研吉 (高知高専)

[PB1: 前半 12:30-13:15]

PB1-1 ○伏見亮祐, 中田裕之, 大矢浩代 (千葉大)

GPS 電波掩蔽観測を用いた東北地方太平洋沖地震に伴う津波による電離圏擾乱の高度分布解析

PB1-2 ○明石徹寛, 大矢浩代, 中田裕之 (千葉大), 土屋史紀 (東北大), 野崎憲朗 (電通大)

ウェーブホップ法を用いた LF 帯標準電波の地震後の D 領域電離圏変動に関する考察

PB1-3 ○堀切友晃, 中田裕之, 大矢浩代 (千葉大), 細川敬祐 (電通大)

HF ドップラー観測を用いた地震に伴う電離圏擾乱の 3 次元分布の解析

PB1-4 ○飯田智之, 山崎政彦 (日大), 鴨川仁 (静岡県大)

地震発生前直前の人工電波と雷電波の衛星軌道上電磁波強度減少について

PB1-5 ○武元清達, 篠田太郎, 加藤雅也, 久富章平, 辻結菜, 中澤知洋 (名大), 和田有希, 榎戸輝揚 (理研)

冬季日本海沿岸で発生したガンマ線グローをもたらす対流雲内部の降水粒子分布

[PB2: 後半 13:15-14:00]

- PB2-1 ○木村亮太, 安藤芳晃 (電通大), 服部克巳 (千葉大), 早川正士 (早川地震電磁気研究所)
WLP-FDTD 法を用いた地殻変動に伴う ULF 帯電磁放射の波源電流強度推定の高精度化
- PB2-2 ○渡辺真子, 芳原容英, 菊池博史 (電通大)
北海道の地震に伴う大気電界変動の統計調査
- PB2-3 ○北出明嗣, 金子柊, 吉野千恵, 服部克巳 (千葉大)
衛星データを用いた火山活動監視手法の検討: 新燃岳火山活動を例に
- PB2-4 ○金子柊, 茂木透, 吉野千恵, 服部克巳 (千葉大)
マルチチャンネル特異スペクトル解析による MT 法のニアフィールド効果の改善の試み
- PB2-5 ○根本敦哉, 大矢浩代, 鷹野敏明, 高村民雄, Alessandro Damiani, 中田裕之 (千葉大)
全天カメラを用いた雲底高度および雲量の推定法に関する検討
- PB2-6 ○本山真, 山崎政彦 (日大), 鴨川仁 (静岡県大)
地震発生前の大気電場変動モデルの検討

休 憩 (10 分)

14:00-14:10

口頭セッション S5

14:10-15:10

座長 工藤剛史(音羽電機工業)

- S5-1 ○源泰拓 (NPO 富士山測候所を活用する会), 鴨川仁 (静岡県大), 門倉昭 (極地研), 田中良昌 (極地研), 佐藤光輝 (北大)
オーロラサブストーム発生時の大気電場の変化
- S5-2 ○山下幸三 (足利大), 岩崎博之 (群馬大), 藤坂浩史 (藤坂技術事務所)
2021 年夏季における北関東での静電界計測網展開の初期結果

S5-3 ○鴨川仁, 鈴木智幸 (静岡県大), 源泰拓 (富士山環境研究センター), 長尾年恭 (東海大), 児玉哲哉 (JAXA), 海東恵美 (地磁気観測所)

100 年近く続く柿岡・地磁気観測所大気電場観測の後継事業

■ 講演者へのお願いとご案内

- (1) 口頭発表1件の発表時間は20分としました。発表15分、質疑応答5分で御発表下さい。時間超過のないようご協力お願いいたします。Zoomによる発表方法詳細は、電子メール等により個別にご案内いたします。
- (2) 大気電気学会誌 講演要旨原稿はホームページへアップロードして下さい。
講演者は「大気電気学会誌」の講演要旨の原稿（1頁ないし2頁）のワードファイルとPDFファイルをホームページへアップロードして下さい。
 1. 締切り：令和4年 2月4日（金）
 2. フォーマットは学会ホームページ（<https://www.saej.jp/entry/journal100.html>）からダウンロードしてください

賛助会員名簿 （五十音順）

現在までに入会されている賛助会員は下記の通りです。本会への賛助に対し、深く感謝申し上げます。本会では賛助のご好意にお応えするため、「大気電気学会誌」に広告を無料掲載することとしております。広報担当運営委員（Email: journal@saej.jp）までお申し込み下さい。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）種子島宇宙センター
株式会社応用気象エンジニアリング
音羽電機工業株式会社
バスタ技研株式会社
株式会社フランクリン・ジャパン
明星電気株式会社